

到達目標

教育目標

中位目標

卒業生の期待像

<p>生命の尊厳と人格を尊重しうる豊かな人間性を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人間をかけがえのない存在として尊重できる ・生命の尊厳及び人権を守ることの意義を理解する 	<p>生命の尊厳及び人権を守ることができる。</p> <p>豊かな人間性をもつことができる。</p> <p>自身の心身の健康を守ることができる。</p>
<p>自己の感性に気づき、人間の多様な価値観を認め受け入れることで、対象を総合的に理解する能力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験から自己の感性に気づくことができる ・人間の多様な価値観を認め受け入れることができる ・様々な価値観、健康レベルにある対象を総合的に理解する能力を養う 	
<p>コミュニケーション技術を磨き、より良い人間関係を築き、看護の科学的思考に基づいた知識、技術及び態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のコミュニケーション技術を磨くための洞察ができる ・対象と援助の人間関係の構築ができるための基礎を身につけることができる ・看護を導き出す系統的な思考過程を理解できる 	<p>科学的思考、看護実践能力、自己表現力を身に着けることができる。</p> <p>専門職業人としての自覚をもち、継続的な学習ができる。</p>
<p>対象のあらゆる健康レベルに応じて科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活者としての対象を理解できる ・対象の個別に応じた健康上の課題を見出すことができる ・科学的根拠に基づいた看護実践の基礎を身につけることができる 	
<p>専門職業人としての倫理に基づいた実践能力を身につけ、自己研鑽し看護を探究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看護理論を通して看護の視点が理解できる ・倫理に基づいた看護の役割について理解できる ・専門職業人として主体的に看護を探究する態度を身につける 	
<p>保健医療福祉における看護の役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉を理解し、看護の機能、役割について考えることができる ・多職種と協働するための知識、技術を身につけることができる ・自身の心身の健康について考え、コントロールできる 	<p>多職種と協働し、看護を創造する楽しさを実感できる。</p>
<p>社会情勢の変化や科学・技術の進歩に関心を持ち、地域に根ざした看護の向上を目指す態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢の変化や科学・技術の進歩に関心をもつことができる ・国際社会の動向や災害看護に関心をもつことができる ・地域に暮らす人々のニーズを知ることができる ・国際・災害看護、地域看護の役割を理解することができる 	<p>国内外の動向に関心を持ち、地域に暮らす人々のニーズに答える基礎的能力を身に着けることができる。</p>